



GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局
宮崎市橘通東3-1-22
宮崎合同庁舎
TEL0985(38)8821

宮崎労働局HP



～参加学生が企画・取材・編集しました!!～ 宮崎労働局インターンシップ特集号

令和7年8月25日から29日の期間中、宮崎労働局で学生インターンシップを開催しました。

インターンシップには、県内の大学生が参加し、職員との意見交換などを行いました。

今月号では、特集記事としてインターン体験における体験内容とその感想について、掲載を行います。

※今月号はインターンシップのプログラムの一つとして、企画から取材、編集まで参加学生が行いました。裏面の【編集後記】もあわせてご参照ください。

職業訓練センター見学

職業訓練センターでは、職業訓練の概要についての理解と、実際の訓練課程の体験をしました。



学生A) 当センターを見学する前までは、その存在を知らなかった。しかし、実際にセンターの見学を行うことで、離職者だけでなく、学卒者向けの訓練が充実していることを知り、多くの方に当センターの存在を知ってもらいたいと思った。



学生B) 職業訓練は、予想以上に難しく、知識や技術を身に着ける大変さを実感しました。しかし、その分、やりがいも大きく貴重な経験となりました。



労働局長からのメッセージ

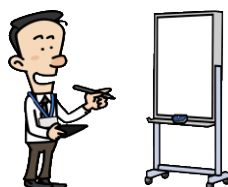


インターンシップ最初のプログラムは、吉越労働局長との面談です。「今回のインターンシップでは、学生との協力による体験型内容の充実による労働局の魅力発信を目的としました。将来的に、多くの学生に労働局で働くことに楽しさに気づいてもらえると嬉しいです。」とメッセージをいただきました。

ハローワーク見学



ハローワーク見学では、業務内容の説明や、若者のハローワーク利用者減に対する対策についての会議、また模擬求職活動を行いました。





4日目の午後からは、宮崎労働局初の就職イベント『輝フェス』の企画会議に参加させていただきました。今回の会議では、主にイベントの広報ポスターと宮崎交通ラッピングバスのデザインについて意見交換を行いました。

イベントが開催されるまでの主催者側の思いやご苦労を実感できる、貴重な機会となりました。これまでにない魅力的なイベントです！当日は私たちも大学の友人を誘って、是非参加させていただきました。



とうとう本日がインターンシップ最終日です。午前中は、宮崎県庁で定例記者会見見学をさせていただきました。私たちは、会見冒頭と締め挨拶を任せていただき、とても緊張しましたが、無事やり遂げることができました。

今回の記者発表項目は7つあり、一般職業紹介状況や新規学校卒業予定者の求職・求人等の状況等について発表されました。記者発表の場は、会場は緊張感にあふれており、普段は体験できない貴重な場面を見学することができました。



若手職員との座談会

最終日の午後に、若手職員の方々との座談会の場を設けていただきました。若手職員の方々との意見交換会ということもあって、非常にフラットな意見交換会ができました。

その中でも、職員の方々の労働局入庁までの試験勉強の大変さを知り、今後自分が試験を受ける際のモチベーションと刺激をもらうことができました。



インターンシップ振り返り

宮崎労働局でのインターンシップでは、企画会議への参加や記者発表の見学、ハローワークなどの施設訪問を通じて、雇用を支える行政の役割や実際の実務の流れを経験させていただくことができました。

職員の皆様の丁寧な対応から、社会人としての姿勢や責任感の大切さも実感しました。普段知ることのできない貴重な経験を通じて、働くことやキャリア支援について考える良い機会となりました。

1週間ありがとうございました！

《編集後記》今回のインターンシップは、労働局の若手職員を中心に運営され、ショート動画による募集や体験型プログラムの企画など積極的な試みが印象的でした。本誌は、初日に構成案の作成、期間中にプログラムの取材や記事の組み立て、最終日に編集というプロセスを経て完成したものです。参加学生のみなさんはチームワークよく、真摯に取り組んでいました。（雇用環境・均等室長 三浦）